

YAMAHA
SDS
SOUND DEVICE SERIES
DIGITAL DELAY SAMPLER DDS-100

取扱説明書

SDS SOUND DEVICE SERIES

ヤマハ・サウンド・デバイス・シリーズは、単体としての性能を高めるだけでなく、マッチング、操作性、可搬性など、複数のユニットを組み合わせて使用する際の問題点をすべて解決することを目標に開発されたエフェクトユニットです。

複数のユニットを組み合わせて使用するためには、単体としての完璧な性能が要求され、不完全なユニットの存在を許すことはできません。ヤマハはエフェクターを多用する今日のミュージシャンのニーズに応えるために、特にこれらの点を重視して、このサウンド・デバイス・シリーズを開発いたしました。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(お預り修理窓口)

東京 電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044)434-3100

新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーホールビル2F) TEL (025)243-4321

大阪 電音サービスセンター 〒565 吹田市新舞臺下1-16(千里丘センター内) TEL (06)877-5262

四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ高松店内) TEL (0878)51-7777, 22-3045

名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ名古屋流通センター3F) TEL (052)652-2230

九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)472-2134

北海道電音サービスセンター 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011)781-3621

仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター3F) TEL (022)236-0249

広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2-27-39 TEL (082)874-3787

浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911 TEL (0534)65-6711

本社

電音サービス部 〒435 浜松市上西町911 TEL (0534)65-5195

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

PSQFK20062

F0488P0

YAMAHA
ヤマハ株式会社

LM事業本部

ギター・ドラム事業部

〒430 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)2431

1. DIGITAL DELAY SAMPLER

デジタルディレイ サンプラー

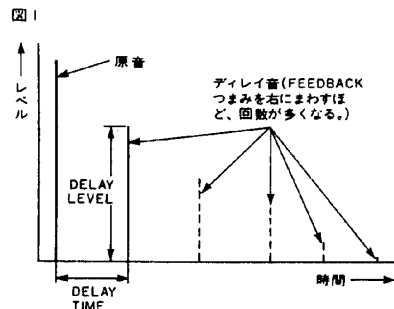
DDS-100には、原音を遅延させた信号を原音に加え、奥行き感や拡がり感を出すディレイ機能と、演奏を録音し、それを後で再生するサンプリング機能の2種類の機能があります。

DDS-100はデジタル方式のエフェクター。入力されたアナログ信号を12bitのデジタル信号に変換したうえで、一旦256kbitのメモリーに記録し、それを古い順にメモリーから読み出すことによりディレイ信号を作り出します。

図1は、ディレイモードの際の原音とディレイ音の関係を示したものです。

MODE切替つまみのS、M、Lの選択とDELAY TIMEつまみの設定により、ディレイ音の遅延時間を22ms～1400msの範囲で設定できます。また、FEEDBACKつまみによりディレイ音の発生の回数、DELAY LEVELつまみによりディレイ音のレベルを設定することができます。

デジタルディレイならではのサンプリングモードでは、最大約1.4秒の録音が行なえ、フットスイッチを踏むことにより再生ができ、つまみの設定やフットスイッチの踏み方により、様々な再生が可能です。



2. Connection

接続の方法

1. 付属の乾電池をセットするか(“電池交換”の項を参照)、または専用のACアダプター(YAMAHA AC-05)を接続してください。
2. IN ◀ジャックに、楽器を接続してください。
3. 本機の◀OUTジャックから、アンプまたは次のエフェクターのIN ◀ジャックに接続してください。
◀OUTジャックにプラグを差し込むと自動的に電源が入ります。
4. フットスイッチを踏むと、効果がON/OFFできます。効果がONの状態ではインジケーターが点灯します。
5. 右の図は、他のエフェクターも使用する場合の、効果的な接続順序の例です。2個以上のエフェクターを組み合わせる場合の参考にしてください。

[注意] ●本機の入出力端子は、EIAJ規格RC-6701Aに適合しています。

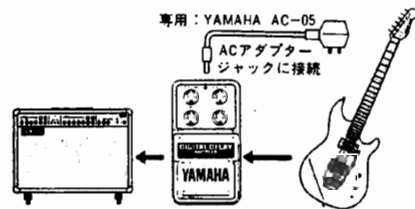
規格外のプラグを使用した場合、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

●本機を使用しないときは、◀OUTジャックからプラグを抜いておくよう心がけてください。

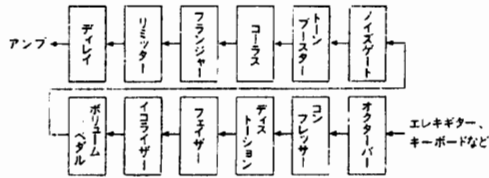
プラグを差した状態は電源ON状態のため、電池が早くなくなります。

●本機はデジタル方式のエフェクターのため、乾電池で使用した場合、電池寿命は連続使用で60分程度です。

演奏時の電池切れによるトラブルを避けるため、専用のACアダプター(YAMAHA AC-05)をお買い求めになり、AC電源で使用されることをお勧めします。



例1) 一般的な接続



例2) ステレオコーラス効果が得られる接続



3. Function

各部の機能

DELAY TIMEつまみ
S、M、L各レンジの範囲内でディレイタイムを設定できます。サンプリングモードでは録音時間や再生スピードを設定するためのつまみとなります。

エフェクト インジケーター
効果がON/OFFや電池の有無を確認することができます。ONの状態では点灯、OFFの状態では消灯します。暗くなったり、点灯しなくなった場合は、新しい電池と交換してください。サンプリングモードでは、録音や再生中に点灯します。

DELAY LEVELつまみ
効果をONにした際の出力の状態を確認するためのつまみで、原音に対するディレイ音のレベルを設定することができます。左いっぱいに戻ってきた状態では原音のみ出力され、右に回すほどディレイ音のレベルが原音のレベルに近づきます。

FEED BACKつまみ
ディレイ音の繰り返し回数を決めるためのつまみです。左いっぱいに戻ってきた状態ではディレイ音が1回発生し、右に回すほど繰り返し回数が多くなります。

MODE切替つまみ
フットスイッチ
効果がON/OFFを足もとで行なうためのスイッチです。サンプリングモードの時には、録音や再生を開始するためのスイッチとなります。

MODE切替つまみ

モードを切り換えるためのつまみで、切り換えにより次のように変わります。

S : ショートディレイモードのポジションで、ディレイタイムを22ms-88msの範囲で設定できます。

M : ミドルディレイモードのポジションで、ディレイタイムを88ms-350msの範囲で設定できます。

L : ロングディレイモードのポジションで、ディレイタイムを350ms-1400msの範囲で設定できます。

R/P : サンプリングモードのポジションで、録音ができます。このポジションでは、再生音に演奏音を重ねていくこともできます。

P : サンプリングモードの再生専用ポジションです。

4. Setting Example

ディレイ効果のセッティング例

ディレイモードで使用する前に、メモリー内の不要な音を次の要領で消去してください。

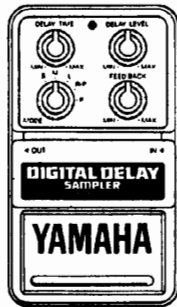
———消去の方法———

MODE切換つまみをディレイモードのLポジションにすると共に、FEED BACKつまみを左いっぱいの状態にします。そして、フットスイッチを踏んでエフェクトインジケータを点灯させた後、もう一度フットスイッチを踏んで、今度はインジケータを消灯させます。これで消去完了です。

例1)

リードソロに向けた一般的なセッティングです。次の手順に従ってセットしてください。

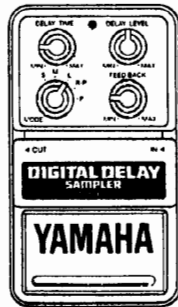
- (1)フットスイッチを踏んでインジケータを点灯させ、ONの状態にします。
- (2)MODE切換つまみをMのポジションにセットし、ミドルディレイモードにします。
- (3)DELAY TIMEつまみ、FEED BACKつまみ、DELAY LEVELつまみを右図のようにセットします。



例2)

ロングディレイ効果のセッティングです。次の手順に従ってセットしてください。

- (1)フットスイッチを踏んでインジケータを点灯させ、ONの状態にします。
- (2)MODE切換つまみをLのポジションにセットし、ロングディレイモードにします。
- (3)DELAY TIMEつまみ、FEED BACKつまみ、DELAY LEVELつまみを右図のようにセットします。



5. Sampling Operation

サンプリング効果の操作方法

次の手順で操作してください。

録音

- (1)メモリー内にすでに録音されている不必要な音を、あらかじめ消去しておきます。MODE切替つまみをR/Pポジションにすると共に、FEED BACKつまみを左いっぱいの状態にします。そして、フットスイッチを踏んでエフェクトインジケータを1回点灯させます。これで消去完了です。
- (2)MODE切替つまみがR/Pポジションになっていることを確認します。(図A参照)
- (3)DELAY LEVELつまみを右いっぱいの状態にすると共に、FEED BACKつまみが左いっぱいの状態になっていることを確認します。(図A参照)
- (4)録音時間の長さをDELAY TIMEつまみで設定します。録音時間は、0.35秒～1.4秒(350ms～1400ms)の範囲で設定できます。つまみ右いっぱいで1.4秒、左いっぱいで0.35秒です。(図A参照)
- (5)録音したい演奏を始めると共にタイミングよくフットスイッチを踏み、すぐに離してください。DELAY TIMEつまみで設定した録音時間だけエフェクトインジケータが点灯し、消灯した時点で録音完了です。

※フットスイッチを踏むタイミングが遅いと頭の音がぬげ、早いと余分な音が入ったりします。タイミン

グよく踏んで下さい。また、設定した録音時間以上、フットスイッチを踏み続けると、録音した音がすぐに再生されると共に新しい音が重なって録音される効果となります。この機能を働かせる場合は、「重ね録音」の項をご覧ください。

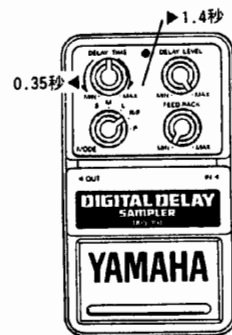


図 A

再生

- (6)MODE切替つまみをPポジションに切り換えます。(図B参照)
 - (7)再生前のセッティングを行ないます。再生音の音量を小さくしたい場合は、適当な音量になるように、DELAY LEVELつまみを左に回してください。また、DELAY TIMEつまみを回すことにより、再生音のピッチも変わります。(図B参照)
 - (8)再生を行ないます。フットスイッチを踏んでいる間、録音した内容が繰り返し再生されます。この時、再生しながら演奏することも可能です。
- ※録音内容を消去する場合は、(1)の操作を行なってください。

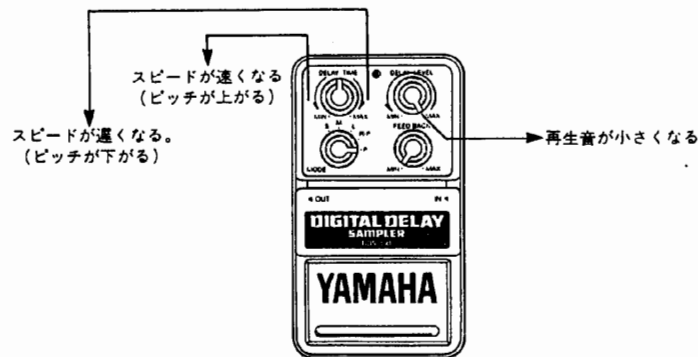
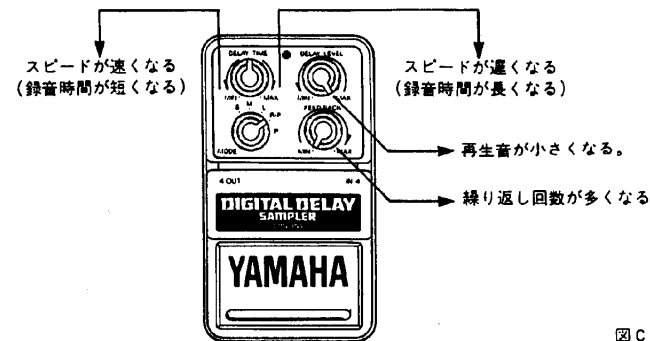


図 B

R/Pポジションによる重ね録音は、次の手順で操作を行なってください。

- 前述の“録音(1)~(5)”の操作を行ない、録音をします。
- 再生前のセッティングを行ないます。再生音の音量を小さくしたい場合は、適当な音量になるように、DELAY LEVEL を左に回してください。また、DELAY TIMEつまみを回すことにより再生のスピードおよび、重ね録音時間を変更することができます。ただし、録音ずみの内容のピッチが変わります。さらにFEED BACKつまみを右に回し、再生音の繰り返し回数を設定します。右に回すほど繰り返し回数が多くなります。(図C参照)
- フットスイッチを踏んで始めると共に、重ね録音を行ないます。演奏した内容が次々に重なって録音/再生され、レベルが下がった音から消えていきます。
※録音内容は演奏をやめれば消えますが、改めて録音する場合は前述の“録音(1)”の操作を行なってください。



図C

6. Battery Change

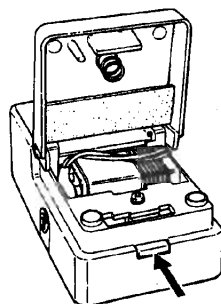
電池交換

エフェクトインジケータが暗くなったり、点灯しなくなった場合は新しい電池と交換してください。電池を交換してから点灯しなくなるまでの時間(電池寿命)は、温度、電池の種類、使用状態などによって異なります。

使用電池：9V乾電池6F22(S-006P)

- エフェクトフットスイッチ手前のオープンボタンを押すとベダル部が開きます。
- 古い電池を取り外し、同じ規格の新しい電池〔6F22(S-006P)〕をセットします。
- ベダル部を“カチッ”とロックされるまで押して閉じます。
このとき、電池コードをベダル部にはさまないように注意してください。

※電池を長時間使用しない場合には、液もれによる故障を防ぐため取り出しておいてください。



8. Specifications

仕様

●方式	: アナログ対数圧縮 12bit 量子化
●入力インピーダンス	: 1MΩ
●出力インピーダンス	: 2kΩ以下
●最大入力レベル	: +4dB, @0dB=775mV、
●ノイズレベル	: IHF-A, -90dB, 入力換算, @0dB=775mV, 入力ショート、FEED BACK at max
●周波数特性	: 20Hz~100kHz ± $\frac{3}{2}$ dB (エフェクトオフ時)
●サンプリング周波数特性	: 100Hz~7kHz ± $\frac{3}{2}$ dB (エフェクトオン時)
●全高調波歪率	: 0.5% (1kHz, -10dB)
●ディレイタイム	: Short 22ms~88ms, Middle 88ms~350ms, Long 350~1400ms
●サンプリングタイム	: 350ms~1400ms
●モード選択	: ディレイモード(S、M、L)、サンプリングモード(R/P、P)
●ファンクション	: DELAY TIME、DELAY LEVEL MODE(S、M、L、R/P、P)、FEED BACK
●端子	: INPUT、OUTPUT
●消費電流	: 50mA(DC9V)
●電池寿命	: 連続使用約1時間 @ ネオハイトップ
●電源	: 9V乾電池6F22(S-006P)、ACアダプター(AC-05)
●寸法	: 70mm(W)×61mm(H)×126mm(D)
●重量	: 430g (電池含む)
●付属品	: 9V乾電池6F22(S-006P)×1

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

7. Caution

ご注意

- 電池を長持ちさせるため、使用しないときは必ず出力側(OUT)ジャックからプラグを抜いてください。
- 出力側ジャックにプラグを差し込んでフットスイッチを踏んでも、エフェクトインジケータが暗い場合や点灯しない場合は、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。
- 電池の液もれによる故障を防ぐため、長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管しておいてください。
- ACアダプターは、専用のYAMAHA AC-05をご使用ください。他のACアダプターを使用した場合、故障の原因となることがあります。
- ギターアンプなどの電源を入れたままでエフェクターのプラグを抜き差ししないでください。ギターアンプなどの故障の原因となります。
- この取扱説明書をお読みになった後は、大切に保管してください。

9. After Service

アフターサービス

1. アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、申続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

2. 保証期間

ヤマハSDSシリーズ製品の保証は、ご購入日(保証書による)より満6ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は国内のみ有効)と致します。

3. 保証期間後のサービス

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。